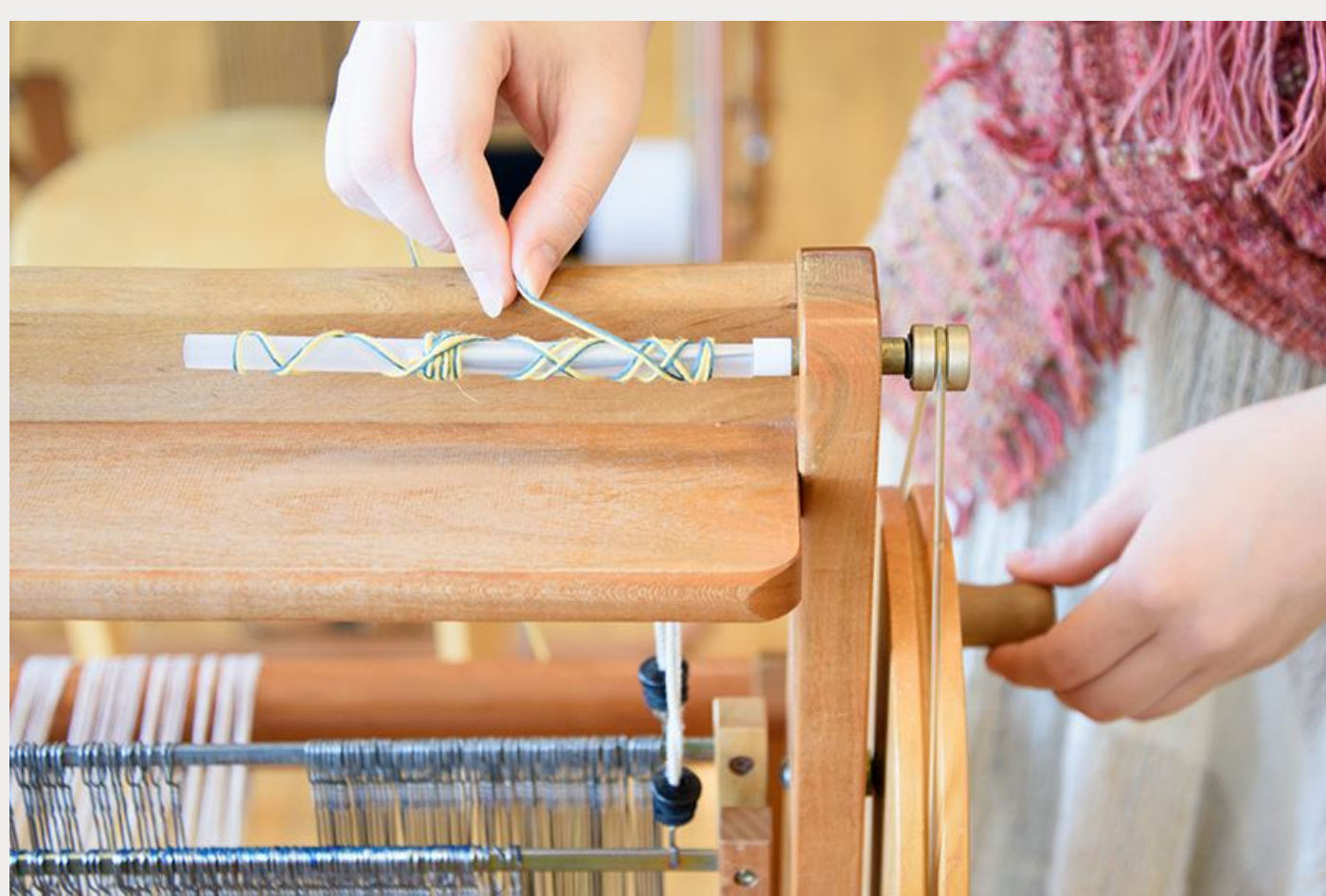


ワインダーの特長と使い方

特長

- SAORIオリジナルのポビンをセットして、糸を巻く道具です。
- 糸を撚って変わり糸を作ることができます。
- 原毛や木綿、真綿で糸を紡ぐことができます。

使い方



ポビンに糸を巻く

ワインダーはとても安定感があり、SAORIのすべてのサイズのポビン・耳付きポビンに糸を巻くことが出来ます。ハンドル1回転でポビンが13回転もするため、細い糸を大量に巻いても疲れません。ハンドルは、人間工学に基づき、疲れない位置に取り付けています。ベルト構造のために、回転音はほとんどしません。



糸を揃える

2本や3本の糸を撚り合わせて、新しい糸を作ることができます。撚りの向きを変えたり、強弱をつけることによって、面白い柄が簡単に織れる糸ができます。一本の糸にもう一本の糸や、原毛をからませて、所々に膨らみのある、節のある変わり糸ができます。ストレートな糸から、全く新しい糸を手軽に作ることができます。



糸を紡ぐ

原毛や絹の真綿、綿花などを紡げます。日本由来の糸紡ぎの方法なので、西洋式紡ぎ機のように、糸が吸い込まれることもなく、ブレーキの調整も不要で、ストレスなく紡げます。ポビンにそのまま巻き取るので、連続していくらでも紡げます。また、SAORIのポビンは120℃まで耐えるので、ポビンごとそのまま蒸しても、電子レンジで加熱しても良いので、撚り止めも簡単です。



ヒモやロープをつくる

スピンドルのバネに糸の束を挟んで捻り、ヒモを作ることができます。捻る前に原毛などを挟んでおくと、オシャレなヒモができます。



コーン巻き補助具をつかう

コーン巻き補助具をとりつけると、SAORI糸の空コーンに糸を巻き取ることができます。カセの糸を巻いたり、糸の本数を増やす時に便利です。



ポビン巻き補助具をつかう

ポビン巻き補助具を使うことによって、自動的に綾振りとテンションをかけることができ、片手でポビンに巻けます。



糸に撚りを掛けたり、撚りをほどいたりする

単糸に増し撚りをして、強撚糸の糸を作ったり、逆に撚りを戻して、撚りの甘い糸を作ったりできます。